おおたわら 社協だより

ふれあいネットワーク

発行所 大田原市浅香3-3578-17
大田原市福祉センター内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 平成28年8月1日
印刷所 ㈱エヌ・シー・シー

（第199号）

ふくしとは、「ふだんのくらしのしあわせ」を、みんなでつくる活動です。

ふだんのくらしのしあわせを、地域で共に育む

おおたわら福祉教育（ふくし共育）研修会

これまでの取り組み発表

講話

全体発表

地域の方とつながるチャンスを活かしたい…

パネル発表

学校と地域がつながれば実践できそうだね！

熱心な話し合い

地域福祉活動と子どもがつながるふくし共育

6月27日に湯津上地区公民館において、「おおたわら福祉教育（ふくし共育）研修会」を開催し、教員、地域の方など120名の方が参加されました。

これは、学童・生徒のボランティア活動普及（小地域で考える福祉教育推進）モデル事業の一環として、学校と地域のつながりを深めていくことをねらいとするものです。

国際医療福祉大学准教授大石剛史氏を講師に、「ふくし共育による未来の地域づくり」と題して講話をいただいた後、学校・子ども・地域が、共にふくし共育を進めていけるように話し合いをしました。

（2ページへつづく）

目次

P1……福祉教育（ふくし共育）研修会
P2……福祉教育（ふくし共育）研修会・地域福祉計画・地域福祉活動計画報告
P3……寄付報告・見守り隊隊長紹介
P4……平成27年度社協事業報告・理事・評議員紹介
P5……平成27年度社協収支決算報告
P6……中間的就労
裏面
P1～2……ボランティア情報紙「だいすき」

ふくし共育研修会

今回は、学校と地域がつながるふくし共育を実践するための**企画のポイント**を学ぶことをねらいに、学校を中心とした地域ごとのグループに分かれて話し合いました。

昨年度の研修会で企画したプログラムを題材に、次の4つのポイントを考えて見直しを行いました。

①人のつながりを意識する
②お互いのことを良く知り、尊重し合う
③「こんな地域にしたい！」という、みんなの想い
④③につながるような内容

18のグループでは、少しでも学校と地域とのつながりを深めようと、活発に話し合いが行われ、よりよい活動にするためのアイディアがたくさん出されました。また、学校と地域のつながりも、今まで以上に深まったようです。

今後は、それぞれの地区で、みんなが考える「こんな地域にしたい」という想いに近づけるよう、地域の特徴を活かしたふくし共育活動を地域全体で進めていきましょう。

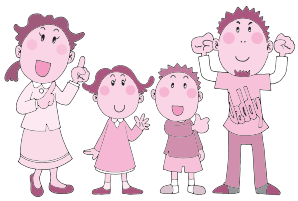
参加者アンケートより

★「こんな地域にしたい」

・子どもが大人を見て育ち、大人が子どもを見守り育てる地域（教員）
・安心して住める（頼れる人が近くにいる）、笑顔あふれる地域（教員）
・お互いに理解し、尊重し合う地域（地域）

★感想

・地域の方と話し合い、企画がより具体的になり、実践してみたいと思う。（教員）
・地域の方と顔見知りになり、お互いを知ることができて良かった。（教員）
・子どもたちとの話し合いを進め、子どもたちの思いを吸い上げることが課題だと思う。（地域）
・他人任せではなく、自分もかかわるのだということが分かった。（地域）
・各地区で、今後より深い話し合いができる、良いきっかけとなった。（地域）



第2次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画
～平成27年度取り組み状況調査結果から～

●大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成26年度～30年度）

平成25年度に市と社協、地域の皆様が一緒に作成した計画です。

「**お**たがいを**お**もいやり**た**のしく**わら**ってくらせるまち**大田原**」を目指し、①市民、②施設・団体、③市社協、④市、それぞれの取り組みを計画に掲げ、協働で取り組んでいます。計画は、大田原市と市社協のホームページで見ることができます。

基本目標

①互いに違いを認め合い支え合えるまち
②必要な人に必要な情報や支援がつながるまち
③みんなの寄りどころのあるまち
④子どもたちが夢ある未来へ向かうまち
⑤いきいき・わくわく活動できるまち
⑥あんぜん・あんしんなまち

●平成27年度取り組み状況調査

平成28年2月に計画の取り組み状況を調査し、39団体にご協力をいただきました。調査では、計画の項目ごとに取り組みの達成度や工夫していること、課題となっていることについて回答いただきました。

★工夫していること

・自治会への加入をすすめるために、自治会役員が戸別訪問し加入を呼びかけている。
・みんなが参加しやすい行事を企画し、毎年、育成会と連携して夏祭りを行っている。
・自治会広報紙を作り、地域で活躍している人や活動を知らせている。
・見守り隊が気軽な相談窓口であることを、会議や広報紙で知らせている。
・地区社協のふれあい食事サービスへの児童・生徒の体験参加や弁当の上紙作成を呼びかけている。
・自主防災組織化を図り、訓練を通して、地域の連携や連帯などを強めることができると思う。

★課題となっていること

・行事を考えるとき、障がい者は状況がさまざまなので、容易に参加できる人もいればできない人もいる。
・若い世代のボランティアが少ない。
・地域の若い人に興味をもってもらえるような行事を考えたい。
・「災害時避難行動要支援者」を自治会でしっかりと把握する必要がある。住民台帳の作成が急務。
・食事サービスの調理・配送ボランティアの後継者育成。

●調査の回答から　それぞれの団体が、特性を活かし活動していることが分かります。「地域をよくしたい」という想いから、すてきな工夫がいっぱいです。また、今回見えてきた課題は、それぞれの施設・団体で、また全体で知恵を出し合い、みんなで考えていきましょう。

寄付報告

平成28年5月16日から7月15日までに、社会福祉のためにお寄せいただいた寄付の報告をします。皆様のあたたかい善意に心より感謝申し上げます。

✻大田原市社会福祉協議会寄付✻

- 全国大衆音楽家協会栃木県北本部　様……20,000円
- 大田原市グラウンド・ゴルフ協会　様……150,000円
- 県北歌謡ふれあいの会　様……20,000円
- 大田原市建設業協同組合　様……20,000円
- 佐藤　鎮雄　様……10,000円
- 黒羽小学校児童会　様……29,505円
- 佐藤　一郎　様……30,000円
- 永岡　久明　様……1,000円

✻大田原市善意銀行寄付✻

- 大田原商工会議所女性部　様……折り紙細工120個
- 連合栃木那須地域協議会　様……タオル140本
- 連合栃木那須地域協議会　様……12,000円
- 栃木県民共済生活協同組合　様……軽トラック1台
- 栗原　敏子　様（第430回）……30,000円
- 山崎　光夫　様……紙オムツ類
- JAなすの湯津上女性会　様……タオル163枚

お詫び

6月1日号の社協だより寄付報告に掲載漏れがありました。心よりお詫び申し上げます。

＜社会福祉協議会寄付＞

金田婦人会　様　54,114円

連合栃木那須地域協議会様

栃木県民共済生活協同組合様

JAなすの湯津上女性会様

福祉委員の氏名訂正について

平成28年6月1日（198号）でお知らせした福祉委員の名簿が間違っておりました。お詫びして訂正いたします。

〔黒羽地区〕
南区西　（誤）荒牧　美佐江さん
　　（正）荒牧　雅子さん

〔川西地区〕
寒井本郷　（誤）中村　新一さん
　　（正）荒井　悦子さん

〔湯津上地区〕
蛭畑　（誤）秋本美恵子さん
　　（正）秋本美重子さん

金田地区思いやり隊

主任紹介

主任　橋本豊美子

四月から主任になりました。より一層の安心生活環境づくりに努めさせていただきます。

安心生活見守り事業　各地区総隊長活動コメント紹介　第1弾

黒羽見守り助け合い隊

総隊長　中澤　正信

地域の皆様を始め多くの関係者のご協力をいただき、隊長、隊員による推進会議を行い、その事業に鋭意取り組んでおります。

国際医療福祉大学学生「盛り上げ隊」が主催する「茶わ会」、新聞発行、年2回（春、秋）の買い物支援、黒羽小学校児童の皆さんの絵手紙等のご協力をいただき、関係者一同感謝しています。また、現在までに本事業の視察受け入れ及び事例発表は、合わせて16回を数えます。これからの案件を見るに、隊員一同事業の推進と貢献に一層のお力添えをお願いいたします。

佐久山おもいやり隊

総隊長　滝田　稔

発足して一ヶ月後に東日本大震災や翌年真冬の九時間にも及ぶ大停電の際は、隊員は利用者さんの安否確認をし、ペットボトルにお湯を入れて暖をとってもらいました。その後「安心して暮らせる」とお礼の言葉が相次ぎました。今年度は4年連続の隊員の視察研修を実施します。予算は独自の財源として毎年11月に行われている産業文化祭におけるバザー収益をあてています。

地域の皆様のあたたかな支え合いに感謝いたします。

紫塚地区見守り隊

総隊長　渋谷　仁一

経塚・栄町・成田町・沼の袋・深川・紫塚・紫塚ニュータウンの7自治区からなる紫塚地区は、平成22年7月成田町をモデルに、自主的な見守り活動が始まり、平成23年1月までに7自治会全体に展開し、同年7月**「紫塚地区見守り隊」**として安心生活創造事業に参画しました。現在、見守り活動も定着してきましたが、まだまだ至らぬ点もあります。今年度は、裾野の拡大と後継者の育成をテーマに、活動に取り組みます。

平成27年度事業及び収入支出について報告します。

1　地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

（1）　安心生活見守り事業の推進

①見守り活動事業　市内12全地区で見守り隊が活動。視察受入れ12回②救急医療情報キットの普及支援

（2）　地域福祉活動計画の推進

市地域福祉計画と一体の「第2次大田原市地域福祉計画・大田原市地域福祉活動計画」（平成26年度～平成30年度）の推進

（3）　小地域福祉活動

①福祉委員（173人）で小地域福祉ネットワーク活動の推進役として活動②地区社協連絡会議の開催③地区社会福祉協議会活動への支援　活動費助成4,152,700円④食事サービス活動への支援　食事サービス10,542食に対し1食あたり400円の助成⑤友愛訪問活動への支援　いきいきクラブ会員が高齢者宅を訪問する活動を支援（27クラブで実施）

（4）　ボランティア活動の推進

①ボランティアセンター事業の推進㋐中高生が考える福祉のまちづくりin大田原㋑災害ボランティア講座㋒市民のまちづくり事業㋓市ボランティア連絡協議会との連携・協力㋔ボランティア保険の加入推進㋕ボランティア登録の推進②災害にも強い地域づくり事業の推進㋐災害ボランティアセンター運営連絡会の開催㋑「社協職員災害時行動の手引き」の作成㋒関東・東北豪雨災害支援活動

（5）　福祉教育（ふくし共育）推進事業

①ふくし共育推進事業㋐市内小中学校へ福祉教育副読本「ともに生きる」を配布㋑学校等の福祉教育支援（31回）㋒学童・生徒のボランティア活動普及事業㋓おおたわらふくし共育研修会の開催②地域福祉啓発イベントの開催㋐ぼくらのまちのウォークラリーへの支援③広報充実事業㋐社協だより発行（年6回）㋑社会福祉士養成課程実習生の受入れ

2　福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

（1）　総合相談事業の実施

①生活困窮者自立支援事業（相談件数86件）②心配ごと相談事業③福祉金庫貸付事業（新規貸付62件）④生活福祉資金貸付事業（新規貸付3件）

（2）　日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進　年度末利用者54名

3　在宅福祉サービス実施事業

（1）　介護保険サービス

①訪問介護事業②居宅介護支援事業③受託訪問介護事業の推進④介護予防支援事業の業務受託

（2）　障害福祉サービス

①障害福祉サービス事業②障害福祉サービス（居宅介護）③同行援護サービス④移動支援

（3）　その他のサービス

①ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業紙おむつ等計14,787パック延べ対象者5,194人　給付金額17,419,276円②日常生活用具貸与事業ベッド延べ67台、車いす延べ95台③リフト付き自動車貸出事業④高齢者等外出支援事業　延べ利用回数15,226回受託金額21,833,800円⑤福祉サービス適正化事業⑥大田原市ボランティアポイント制度事業

4　法人の基盤強化事業

（1）　福祉のまちづくり市民参加運営事業

①理事会・評議員会の開催②会員加入の推進（普通会員16,611世帯、特別会員　806事業所、賛助会員　28施設）

（2）　基金・寄付事業

①善意銀行運営事業　寄付等預託522,579円、配分640,000円　残高4,720,531円　②地域福祉基金造成事業　寄付等1,589,671円、基金残高214,851,662円　③赤い羽根共同募金事業　募金実績10,414,760円　配分事業6,413,159円

（3）　その他

①大田原市福祉センター管理運営事業　会議室等利用件数1,056件

地域の声を届けてくれる役員の皆さんです

（選出団体等の役員改選により一部の役員が交代しました　平成28年6月1日現在（敬称略・順不同）

太字　が新任の方です。

＜理事：17名＞

津久井富雄、室井　祐之、洗　正之、**引地　達雄**、筒井　雅治、渋谷　仁一、**本多　房雄**、北本　弘二、佐藤　莞治、稲葉　清、**髙瀬　重嗣**、**廣瀬　憲一**、**伊藤　都**、**國井　芳雄**、**木村　章穂**、永塚　和子、**岩井　芳朗**

＜監事：2名＞

北條　秀樹、伊藤　三良

＜評議員：41名＞

菅谷　正男、**小谷　正美**、鈴木　作三、**佐藤　富夫**、岡本　憲一、**大森　清五**、**大塚　龍樹**、髙木　伸夫、古沢　秀雄、荒井　幸子、伊藤　耕一、青龍寺弘範、佐久間征夫、本堂　敏雄、室井　敏雄、熊田　幸雄、國井　頼邦、**相馬　辰美**、藤沼　久子、小林　久子、中澤　正信、佐藤　和夫、大宮司　肇、湯本　友子、**佐武　久司**、**印南　信夫**、**原田　政樹**、**渡辺　陽子**、**永岡　明子**、若林　明、遅沢　泰三、**髙﨑　清一**、菊地　睦美、小西久美子、川上佳代子、**磯　政裕**、伊藤　清幸、**前田　則隆**、和久千夏子、**笠井　正佳**、**安在　保男**

平成27年度　収支決算報告

（単位：円）

◎一般会計

＜収入＞（①＋②＋③＋④）収入計283,475,819

①事業活動収入計	254,520,422
会費収入	9,513,400
寄附金収入 一般寄付/ぎんなん基金/善意銀行	1,760,168
経常経費補助金収入 市補助金/県社協補助金	115,016,267
受託金収入 市受託金/県社協受託金	70,625,026
貸付事業収入	777,600
事業収入	702,400
介護保険事業収入	42,340,248
障害福祉サービス等事業収入	12,100,668
受取利息配当金収入	1,461,217
その他の収入	223,428
②施設整備等収入計	0
③その他の活動収入計	22,432,598
④前期末支払資金残高（前年度繰越金）	6,522,799

＜支出＞（⑤＋⑥＋⑦）支出計276,444,359

⑤事業活動による支出合計	268,870,865
人件費支出 役員報酬/職員給与/非常勤職員給与	183,707,244
事業費支出 安心生活見守り事業/紙おむつ給付事業	59,639,081
事務費支出	10,439,440
貸付事業等支出 福祉金庫	1,084,600
助成金支出 地区社協助成金	14,000,500
⑥施設整備等支出計	876,773
⑦その他の活動支出計	6,696,721
⑧当期末支払資金残高（次年度繰越金）	7,031,460

貸借対照表（法人全体）

（単位：円）

◎資産の部

流動資産	30,963,714
現金預金	10,661,486
事業未収金	20,302,228
固定資産	338,851,792
基本財産	3,010,161
土地	10,161
定期預金	3,000,000
その他の固定資産	335,841,631
建物	259,285
車両運搬具	2,390,637
器具及び備品	481,494
無形リース資産	5,138,100
投資有価証券	138,475,240
長期貸付金	988,970
退職手当積立基金預け金	84,680,763
退職給付引当資産	22,330,189
地域福祉基金積立資産	76,376,422
善意銀行積立資産	4,720,531
資産の部合計	369,815,506

◎負債の部

流動負債	23,932,254
事業未払金	20,743,525
1年以内返済予定リース債務	0
預り金	2,095,523
職員預り金	1,093,206
固定負債	107,438,202
リース債務	5,138,100
退職給付引当金	102,300,102
負債の部合計（A）	131,370,456

◎純資産の部

基本金	3,010,161
基金	214,851,662
地域福祉基金	214,851,662
国庫補助金等特別積立金	435,000
その他の積立金	27,050,720
職員給与退職積立金	22,330,189
善意銀行積立金	4,720,531
次期繰越活動増減差額	△6,902,493
（うち当期活動増減差額）	△20,024,997
純資産の部合計（B）	238,445,050
負債及び純資産の部合計（A＋B）	369,815,506

平成28年度　大田原市社会福祉協議会 職員採用試験のお知らせ

●**職種・募集人員**　○社会福祉士　１名

●**受験資格**

○社会福祉協議会職員として地域福祉の推進に携わっていく意欲と熱意のある方

○昭和56年４月２日以降に生まれ、社会福祉士の資格を有する方、または平成29年３月31日までに取得見込みの方

●**受験資格のない方**：次のいずれかに該当する方

○日本国籍を有しない方　○成年被後見人または被保佐人の方

○禁錮以上の刑に処せられ、その執行が終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの方

○日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した方

●**試験の期日・場所・内容**

①一次試験　○日時：10月16日(日)　午前９時～正午
○場所：大田原市福祉センター（大田原市浅香3-3578-17大田原市社会福祉協議会）
○試験内容：教養試験（高等学校卒業程度）、職場適応性検査

②二次試験　○日時：11月中旬の予定　○試験内容：面接、作文

●**合格発表予定**　○一次試験：11月上旬
○最終合格発表：11月下旬の予定

●**採用予定**　○平成29年４月１日

●**試験要領・申込書**

○社会福祉協議会本所、黒羽支所、湯津上支所で配布します。

○社会福祉協議会のHPからもダウンロードできます。

●**試験申込書の受付期間**　○８月１日(月)～９月２日(金)の土・日・祝日を除く午前８時30分～午後５時15分（社会福祉協議会本所で受け付けます。）　○郵送の場合は９月２日(金)消印有効

●**試験についての問い合わせ**

○大田原市社会福祉協議会
（☎0287－23－1130　〒324－0043　大田原市浅香3－3578－17　HP　http://www.ohtawara-shakyo.or.jp/）

“中間的就労”…社会復帰への第一歩として…

現在、引きこもりと言われている方は、全国に約24万人いると言われています。広い意味での引きこもり者（普段は家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する）も含めると、約70万人にも及ぶことが分かっています。（平成22年内閣府「若者の意識に関する調査」より）

しかし、この引きこもりの定義は15歳から39歳までの年齢であり、40歳以上の方も含めるとさらに多い数になることが予想されます。

引きこもりの原因は様々ですが、傾向としては仕事や就職に関することが多くなっています。

就労したいと思っていても、なかなか環境に馴染めない、長時間の仕事が厳しいという方が多く、一般就労に着く前に、**中間的就労として短時間での仕事や作業ができる場が必要**です。

引きこもりの方に限らず、母子家庭のお母さんや、体調が原因で長い時間働けないという方々のために、短時間就労への協力を考えてくださる方、また、関心をもっていただける方は、左記までご連絡をいただければ幸いです。

☎0287－23－1130
大田原市社会福祉協議会
本所地域福祉係

各相談の日程
◆心配ごと相談（民生委員・児童委員が相談に応じます）

地区	相談会場	日時				連絡先
大田原	市福祉センター相談室	毎週金曜日　午前９時～正午				市社協本所 ☎23－0233
		８月５日	８月12日	８月19日	８月26日	
		９月２日	９月９日	９月16日	９月23日	
		９月30日	10月７日			
湯津上	佐良土多目的交流センター研修室	毎月第１水曜日　午後１時～４時				市社協湯津上支所 ☎98－3715
		８月３日	９月７日	10月５日		
黒羽	市社協黒羽支所相談室	毎月第１、第３木曜日　午前９時～正午				市社協黒羽支所 ☎54－1849
		８月４日	８月18日	９月１日	９月15日	
		10月６日				

※相談日が休日のときは、期日を変更しますのでご注意ください。

◆ボランティア相談

「ボランティア活動をしたい」「ボランティア活動してくれる方の募集」などの相談に、市社協職員が応じます。

毎週月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）午前９時～午後５時　　場所：市社協本所

電話、電子メールによる相談は随時受け付けます。（電話は午前９時～午後５時）

※人権相談・行政相談については、市広報（毎月１日発行）、ホームページをご覧ください。

［大田原市ホームページ］http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/

栃木県運営適正化委員会

福祉サービスに関する苦情や相談をお受けし、事業所への調査や話し合いによるあっせんを行う等、苦情の解決を図ります。

例えば、こんな時……

・約束したはずのサービスが受けられない

・支援の仕方が乱暴だ。職員の言動に傷つけられた。

・もう少しプライバシーを守ってほしい。等

相談は電話や来所のほか、文書やメールでも受け付けています。

連絡先：栃木県運営適正化委員会（宇都宮市若草1－10－6とちぎ福祉プラザ内）
電話：028－622－2941
mail：asu.sw@dream.ocn.jp
相談時間：月曜日から金曜日　午前9時から午後4時（祝日・年末年始は除く）
その他：相談料等はすべて無料です。秘密は厳守します。来所の際は事前にお電話ください。

参加者ボランティア募集！

－ともに生きるまちづくり－

ぼくらのまちのウォークラリー

　こどもから大人まで、グループのみんなで力を合わせてゲームやクイズを楽しみながら1.5kmを歩きます!
　ハンディのある人もない人もみんなで一緒に楽しみましょう!当日ボランティアも募集しますのでご連絡ください。

と　き：平成28年10月22日(土)
ところ：大田原市ふれあいの丘（市内福原）
時　間：ボランティア　午前８時30分～午後１時30分
　　参加者　午前９時15分受付～午後１時
参加費：１人300円（昼食、保険料）
主　催：ぼくらのまちのウォークラリー実行委員会
申し込み：10月５日(水）までに市社協（末頁）へ

ボランティア　いろいろ

「バルンアート」を学ぼう

　県ボランティア連絡協議会では、バルンアートの研修会を行いました。参加した方から「イベント、高齢者の認知症予防、子ども達も一緒に楽しむことができる。今後学んだ事を活かしていきたい。」との感想が聞かれました。

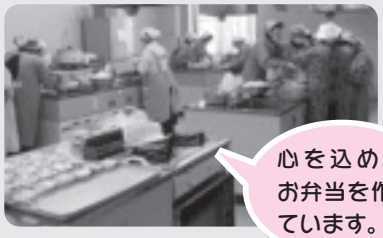
見る人の心を和ませる、こんな活動もあるんですね！

ボランティア募集情報

調理ボランティア

　市ボランティア連絡協議会黒羽支部では、年2回、11月と2月に手作り弁当を高齢者世帯へお届けしています。ひとり一人お届けすることで、安否確認や、地域のつながりづくりを行っています。一緒にお弁当をつくりませんか。
　詳しくは、下記までお問合せください。

市ボランティア連絡協議会黒羽支部担当：松本さん
☎53-1050
※不在の場合は留守番電話にメッセージを入れてください。



心を込めて、お弁当を作っています。

傾聴ボランティア養成講座

受講生募集！

　傾聴とは相手のお話に耳を傾け、聴くことをいいます。
　福祉施設や在宅で生活されている高齢者を中心に、傾聴ボランティアを求める声が大変大きくなっています。
　傾聴はどんな人にとっても役に立つ技能です。ぜひ、ご参加ください。

開催日：全５回
　▷９月２日(金)、９月５日(月)、９月７日(水)、９月９日(金)、９月14日(水)
時　間：午後１時30分～午後４時30分（３時間）
場　所：１～４回目　市生涯学習センター
　５回目　市総合文化会館２階会議室
講　師：渡邊 純子 氏（話の聞き方教室「ハピネス」代表）
対　象：大田原市に在住、または勤務している方
　５回すべてに出席いただける方
定　員：30人
参加費：1,000円
締切日：８月22日(月)
申込み：市健康政策課健康政策係
　☎0287-23-8704
主　催：大田原市傾聴ボランティア「ハートフルハート」

ボランティア情報紙

だいすき

ボランティア紹介コーナー

旧須賀川小学校保存会

平成18年8月設立　会員数33人

廃校になった校舎の清掃、植木の手入れ、校庭の清掃等を通し地域の交流親睦を深めています。

庭木の手入れ中

★どんな活動をしていますか？★

地域のイベント、（春の新茶、秋の新そば祭り）夏休み期間は各学校の合宿、職場の研修等、サポートしています。

★みんなに伝えたいこと★

テレビドラマ「とと姉ちゃん」のロケや、過去にもロケ地に使用されました。ぜひイベントや行事等に利用してください。

★がんばっていること★

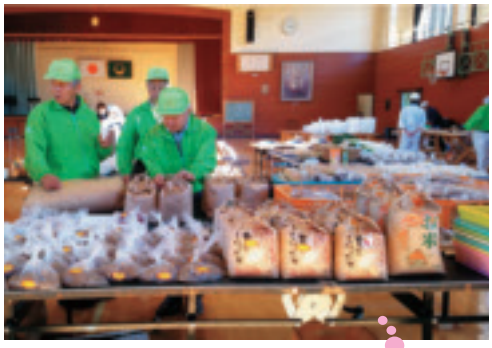
週2、3回校舎の窓を開け換気しています。

★メンバーの声★

私達が通った学校をいつまでも地域に残しておきたい。

★利用者の声★

毎年開催される、新茶、そば祭りを楽しみにしています



秋のそば祭り（地域の農産物販売）

平成28年度災害ボランティア講座のお知らせ

災害ボランティアセンター運営訓練

参加者募集！

日　時：9月10日（土）　午前10時～午後15時30分
会　場：大田原市福祉センター研修室
講　師：認定NPO法人　とちぎボランティアネットワーク
内　容：①災害ボランティアセンターとは？
②被災者の心に寄り添う支援　③災害ボランティアセンター運営訓練
対　象：高校生以上で、市内にお住まい、または通勤通学されていて災害ボランティアに関心のある方
定　員：30人　　**参加費**：200円
問合せ・申し込み：8月30日（火）までに市社協までお申し込みください

ボランティア募集情報は、市社協ホームページのブログに掲載しています。

大田原市社会福祉協議会は、みんなのふだんのくらしのしあわせを応援しています！

【本 所】
浅香 3－3578－17
大田原市福祉センター内
☎ 23－1130・24－0294
FAX 23－1138

あすてらす おおたわら
☎ 23－7375

【湯津上支所】
佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98－3715
FAX 98－8011

【黒羽支所】
黒羽田町 848
☎ 54－1849
FAX 54－2745

大田原市社会福祉協議会 介護事業所

市社協ホームページ URL　http://www.ohtawara-shakyo.or.jp/